

## 2. 地区の災害特性及び防災対策の方向性の補足（大久保東小学校区）

### 1) 地区内の人口状況：平成 25 年との比較

◆市総人口：161,047 人/H25 年 ⇒ 175,065 人/R5 年 【14,018 人増】

	H25 年 3 月		R5 年 3 月		備考
地区全体	10,121 人	⇒	9,853 人	★268 人の減少	
0 歳～9 歳	1,566 人	15.5%	1,211 人	12.3%	792 人
10 歳～14 歳					419 人
15 歳～19 歳	6,811 人	67.3%	6,328 人	64.2%	451 人
20 歳～29 歳					1,283 人
30 歳～59 歳					4,025 人
60 歳～64 歳					569 人
65 歳～69 歳	1,745 人	17.2%	2,315 人	23.5%	467 人
70 歳～79 歳					1,082 人
80 歳以上					766 人

●全体としての人口は減少しているものの65歳以上の人口が増加  
●65歳以上の人口数対生産年齢人口数比★1人対2.7人

### 2) 丁目ごとの標高

#### ◆大久保

丁目	最高	場所	最低	場所	高低差
2 丁目	26.2m	17 番 9 号付近の道路	19.9m	3 番 17 号付近の道路	6.3m
4 丁目	26.6m	15 番 4 号付近の道路	21.2m	1 番 22 号千葉興銀道路	5.4m

#### ◆本大久保

丁目	最高	場所	最低	場所	高低差
4 丁目	23.3m	18 番 30 号付近の道路	8.7m	4 番 62 号付近の道路	14.6m
5 丁目	23.9m	9 番 23 号付近の道路	20.2m	1 番 10 号付近の道路	3.7m

#### ◆泉町

丁目	最高	場所	最低	場所	高低差
1 丁目	25.9m	2 番日大津田沼裏門	25.3m	済生会習志野病院 P1	0.6m
2 丁目	26.5m	4 番 12 号市水道第一給水場	24.5m	1 番東邦中学校正門	2.0m
3 丁目	27.6m	6 番習志野第二住宅集会所	24.5m	6 番 7 号マリン道路上	3.1m

※国土地理院地図データから職員が手作業により、検索しているため、多少のズレ有

### 3) 丁目ごとの災害特性：全壊・半壊棟数＝千葉県北西部直下地震想定時

丁目	揺れ		液状化 全半壊	河川氾 濫浸水	内水氾 濫浸水	高潮 浸水	土砂 災害
	全壊	半壊					
大久保 2 丁目	31 棟	76 棟	0 棟	なし	6 棟	なし	なし
大久保 4 丁目	38 棟	87 棟	0 棟	なし	0 棟	なし	なし
本大久保 4 丁目	76 棟	177 棟	0 棟	なし	460 棟	なし	なし
本大久保 5 丁目	12 棟	30 棟	0 棟	なし	1 棟	なし	なし
泉町 1 丁目	0 棟	1 棟	0 棟	なし	0 棟	なし	なし
泉町 2 丁目	2 棟	6 棟	0 棟	なし	0 棟	なし	なし
泉町 3 丁目	5 棟	14 棟	0 棟	なし	2 棟	なし	なし

#### 4) 住民の視点から見た地区の災害特性：H25年ワークショップ

連番	区分	意見等内容
1	火災	◆火災が発生した場合に、住民だけでは消火栓を活用した消火活動ができない可能性がある。
2	避難所・避難場所	◆京成大久保駅周辺の帰宅困難者や近隣からの避難者が多くなると、大久保東小学校のみでは収容しきれない。
3	避難経路	◆特に京成大久保駅前・商店街・大久保4丁目は道路が狭く、火災発生時等の避難が困難である。 ◆災害発生時には京成線の踏切の遮断機が降りたままになり、線路を越えての避難が困難になる事態が予想される。
4	帰宅困難者	◆災害によって京成線の運行が停止した際に、帰宅困難者が大量に発生し、京成大久保駅周辺に滞留する可能性がある。

#### 5) 住民の視点から見た防災対策の方向性：H25年ワークショップ

連番	区分	意見等内容
1	防災体制	◆駅職員との連携を図るとともに、町会ごとのつながりを強化する。
2	情報収集	◆災害用伝言ダイヤル「171」の活用について、地域住民へ周知する。
3	広域的な避難	◆他自治体からの避難や他自治体への避難について、対応を事前に検討する必要がある。
4	物資・資機材の備蓄	◆町内会において水・食料の確保を進め、災害時には炊出しの対応を行う。
5	防災訓練の実施	◆「災害時にいきなり対応」というのは無理であり、防災訓練等をとにかく繰り返すことが大切である。